

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公開番号】特開2004-362734(P2004-362734A)

【公開日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2004-63202(P2004-63202)

【国際特許分類】

G 11 B 5/82 (2006.01)

G 11 B 5/73 (2006.01)

G 11 B 21/12 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/82

G 11 B 5/73

G 11 B 21/12 J

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月16日(2007.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ディスク上でヘッドを動作させる方法であって、

読み出し動作と書き込み動作のうち少なくとも一方の間に、データ・ゾーン表面に対するディスクのデータ・ゾーン上方で第1の高さでヘッドを動作させるステップと、

データ・ゾーン表面に対する第2の高さでヘッドをパーキングさせるステップと、

ヘッドのパーキングへの遷移中にディスクの遷移ゾーン上方で、前記第1の高さより高い、データ・ゾーン表面に対する第3の高さでヘッドを動作させるステップとを含む方法。

【請求項2】

ディスクリート・トラック記録パターンを有し、データを記録するデータ・ゾーンと、複数のレーザー・テクスチャ・バンプを有するCSSゾーンと、

前記データ・ゾーンのディスクリート・トラック記録パターンに対して平坦な表面を有する遷移ゾーンと

を備える磁気記録ディスク。

【請求項3】

データを記録する第1ゾーンと、

該第1ゾーンに隣接していて、ヘッドが前記第1ゾーン上方で動作される際に、ヘッドの浮揚高さを高める表面を有する第2ゾーンと、

該第2ゾーンに隣接していて、上記ヘッドがその上にパーキングされる第3ゾーンとを備える磁気記録ディスク。

【請求項4】

データを記録する第1ゾーンと、

該第1ゾーンに隣接していて、ヘッドが前記第1ゾーン上方で動作される際に、ヘッドの浮揚高さを高める表面を備える第2ゾーンと、

該第2ゾーンに隣接していて、上記ヘッドがパーキングされる第3ゾーンと

を備える磁気記録ディスク。

【請求項 5】

ホール効果ヘッドまたは磁気抵抗読み取り素子を有するヘッドを備えるスライダおよび、
磁気記録ディスクであって、
データを記録する第1ゾーンと、
該第1ゾーンに隣接していて、スライダが前記第1ゾーン上方で動作されているときよりも、スライダの浮揚高さを高める表面を有する第2ゾーンと、
該第2ゾーンに隣接していて、上記スライダがパーキングされる第3ゾーンとを備える
磁気記録ディスク
を備えるディスク・ドライブ。

【請求項 6】

ホール効果ヘッドまたは磁気抵抗読み取り素子を有するヘッドを備えたスライダと、
ランプと、
磁気記録ディスクとを備え、前記ランプは前記磁気記録ディスクの第1部分の上方に配
置されるとともに、前記磁気記録ディスクは、
ディスクリート・トラック記録パターンを有するデータ・ゾーンと、
該データ・ゾーンに隣接するロード／アンロード・ゾーンとを備え、該ロード／アンロ
ード・ゾーンは、ランプの下方にある第1部分と、ランプを越えて延びている第2部分と
を含み、前記ロード／アンロード・ゾーンの前記第2部分は、前記スライダの浮揚高さを
、そのスライダの前記データ・ゾーン上方での動作時よりも高くする表面を有するロード
／アンロード・ディスク・ドライブ。